

勝海舟の記念館にあなたの想いを残しませんか？

勝海舟 基金

〈ご支援のお願い〉

勝海舟が眠る大田区・洗足池の地に
日本初の勝海舟の記念館がオープンします。

大田区立
勝海舟記念館
2019年夏開館

大田区立勝海舟記念館 平成31(2019)年夏開館



■大田区は、国登録有形文化財である旧清明文庫を保存・活用し、日本初の勝海舟記念館を整備し、海舟と大田区との縁を紹介するとともに、海舟の想いと地域の歴史を伝える記念館を目指します。

■平成31(2019)年夏の開館を目指し、平成30(2018)年1月から建築工事、3月からは展示ケースなどの制作を始めました。東側(正面右)に増築します。

施設設備の目指す姿

1. 勝海舟の想いが伝わる記念館
2. 文化財建造物の保存・活用

既存棟1F
常設展、特別展など

既存棟2F
展示のほか事業も開催

1Fのイメージ図



時の部屋

大海原を進む咸臨丸のCGを中心に映像を展開

海舟ブレイン

海舟が何を考えてきたかを解き明かし、人物像に触れる

海舟クロニクル

海舟の一生を実物資料等でたどる

■展示資料の一部ご紹介



海防等に関する意見書(草稿)

ペリー来航時の幕府に対する意見書。記念館では、勝海舟直筆の文書や勝海舟に宛てられた手紙等を展示します。



咸臨丸往復航路図

勝海舟が咸臨丸でアメリカに渡りした際の往復航路を記したもの。この他、記念館では、海舟が生活の中で使っていた愛用品等、勝海舟に関する資料を展示します。

■最新情報はこちら

ホームページのご案内
本記念館整備事業の進捗状況などを随時更新します。
イベント情報など最新情報はこちらをご覧ください。

勝海舟記念館 で検索



大田区HP

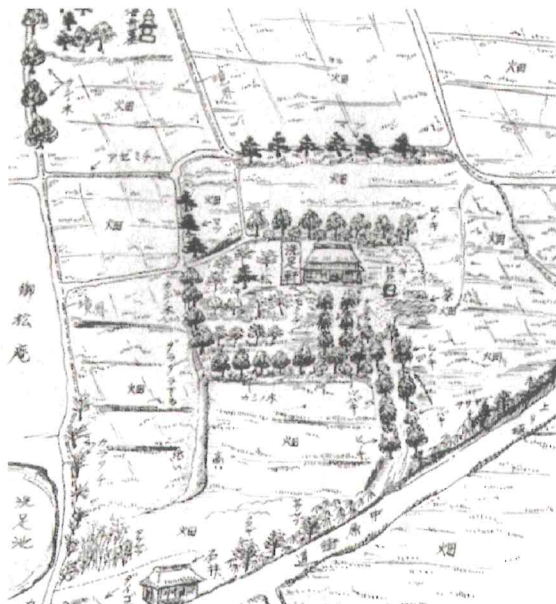
■大田区と勝海舟

勝海舟は、江戸城の明け渡しについて話し合うため、中原街道を経由して、新政府軍の本陣が置かれた池上本門寺に向かう途中、洗足池付近で休息を取ったといわれています。

そのときに、洗足池周辺の風景を気に入り、明治24(1891)年、「洗足軒」といわれる別荘を現在の大森第六中学校の地に構えました。

海舟は明治32(1899)年1月19日に亡くなり、遺志により洗足軒の近くに葬られました。明治38(1905)年、海舟の妻民子が亡くなり、一度は青山墓地に葬られましたが、昭和20年代にこの地へ改葬されました。現在、洗足池のほとりには、二つの五輪塔が並んだ「勝海舟夫妻墓所」があります。

洗足軒周辺絵図
(野村義治「勝海舟と千束」、『史誌17』、大田区、1982)



■勝海舟

(通称：麟太郎、安房守、安芳)

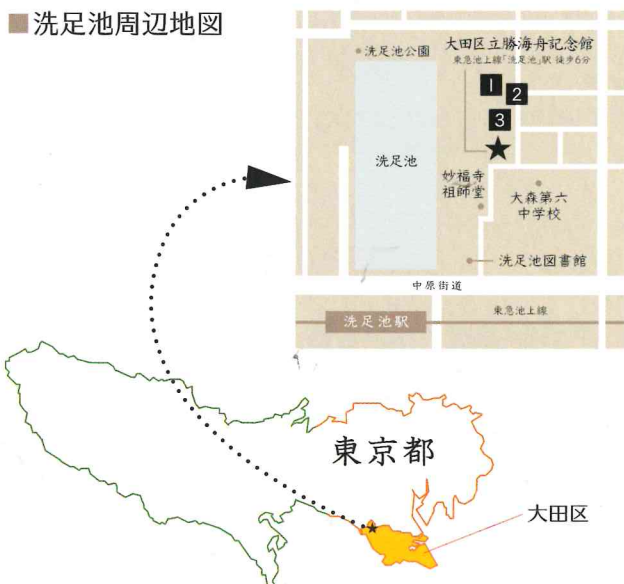


勝海舟は、幕末から明治にかけて激動の時代を駆け抜きました。咸臨丸で渡米し、海軍の育成に努めるなど幕末のもっとも革新的な考えを持った幕臣と言われています。1868年に新政府軍が江戸に進軍した際には、薩摩藩邸における西郷隆盛との会見や、池上本門寺での交渉を経て、「江戸無血開城」を実現させたことでも有名です。

勝海舟の生涯

- 文政6(1823)年 1歳 本所亀沢町(現、墨田区)で生まれる。
- 文政12(1829)年 7歳 將軍家齊の孫初之丞のお付きとなる。
- 天保9(1838)年 16歳 父・小吉隠居のため家督を継ぐ。
- 天保11(1840)年 ●アヘン戦争始まる。
- 天保12(1841)年 19歳 剣術の免許皆伝を受ける。
- 嘉永元(1848)年 26歳 ソーフハルマ蘭日辞書を二部筆写。
- 嘉永6(1853)年 31歳 ●ペリー、浦賀に来航。
ペリー来航に伴い広く意見が求められた。
海舟も幕府へ海防などに関する意見書を出す。
- 安政2(1855)年 33歳 操船技術を習得のため
長崎海軍伝習所に赴任。
- 万延元(1860)年 38歳 咸臨丸で太平洋を横断、渡米する。
- 元治元(1864)年 42歳 海舟の建言で神戸海軍操練所が
開設される。
坂本龍馬ら諸藩の学生志士を教育する。
- 慶応3(1867)年 ●徳川慶喜大政奉還。坂本龍馬暗殺される。
- 明治元(1868)年 46歳 海軍奉行並、ついで陸軍総裁、軍事取扱に就任。
数回にわたり西郷隆盛と交渉する。江戸無血開城
- 一線を退いてからも徳川慶喜、旧幕臣らと交流を図り
その救済に奮迅する。
- 明治10(1877)年 ●西南戦争。西郷隆盛死去。
- 明治24(1891)年 69歳 洗足軒を構える。
- 明治32(1899)年 77歳 一月十九日死去。

■洗足池周辺地図



昭和12(1937)年数名の者が計画し海舟の門下生の一人徳富蘇峰に詩を書いてもらい設立した。



南洲海舟両雄詠嘆之詩碑

西郷隆盛を悼み、三回忌にあたる明治12(1879)年に勝海舟が建立した石碑で正面に西郷の作詩を刻む。



西郷隆盛留魂詩碑

勝海舟とその夫人である民子の墓。海舟は明治32(1899)年1月19日、赤坂の氷川邸で死去した。五輪の形式は海舟が生前に図案化して指示したものとされ、海舟の文字だけを水輪に刻ませている。



勝海舟夫妻墓所

勝海舟基金にご協力を

この度、より魅力的な記念館として運営し続けられるよう全国の皆さまからお力添えをいただきたく、勝海舟基金を設置し、寄附を募ることといたしました。

皆さまからご支援を賜りましたご寄附は、勝海舟に関する資料の購入や修復等に活用させていただきます。

皆さまのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

●特典

返礼品

	寄附金	特典内容
A	3千円以上	・大田区立勝海舟記念館ご招待券
B	1万円以上	・年間パスポート ・記念品(非売品)
C	10万円以上	・寄附者名(個人・法人等)を銘板に掲載(任意) ・年間パスポート ・記念品(非売品)

- ・希望される方はホームページに寄附者名(個人・団体等)を掲載いたします。
ホームページへの掲載は一定期間とさせていただきます。
- ・銘板は、記念館開館にあわせ製作いたします。
- ・ご招待券や年間パスポート、記念品は、記念館の開館にあわせて発送する予定です。
- ・勝海舟基金へのご寄附は、ふるさと納税の対象となります。
詳細は大田区ホームページをご覧ください。

●寄附の方法

1 ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM(手数料無料)

このパンフレットにはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)に必要事項を記入し、お近くのゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATMで払い込んでください。

2 区が指定する金融機関(手数料無料)

納付書を送付いたします。
大田区のホームページよりお申し込みください。

3 クレジットカード(手数料無料)

<平成30年12月を目途に開始する予定です。>
詳細は大田区ホームページをご覧ください。

4 区窓口(平日(年末年始を除く)9時から17時まで)

大田区文化振興課の窓口でお受けいたします。
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
大田区役所6階22番窓口 文化振興課勝海舟記念館開設準備担当まで、現金をご持参ください。

入金確認後、概ね1か月以内に、寄附申込書のお名前・ご住所宛てに寄附金受領証明書をお送りいたします。

(注)未成年の方は、保護者の同意が必要となります。

●税法上の優遇措置

<個人の方へ>

本基金へのご寄附はふるさと納税制度の対象です。

確定申告により、所得税及び住民税の寄附金の控除が受けられます。

また、寄附した自治体へ申請することで、確定申告せずに寄附金控除を受けられるワンストップ特例制度があります。

詳しくは、総務省ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。

<法人の方へ>

この寄附は、全額法人税法上の損金に算入されます。詳しくは、国税庁ホームページ等をご覧ください。

●個人情報の取り扱い

ご寄附により取得した個人情報は、個人情報保護法等を遵守し、本寄附受領に伴う事務処理にのみ利用いたします。

ご寄附の
お申し込み先・
お問い合わせ先

大田区文化振興課
勝海舟記念館開設準備担当
TEL 03-5744-1653 FAX 03-5744-1539

勝海舟記念館 で検索



大田区HP